

おのきた

## 尾北校長室から

第39号



### 「紙ヒコーキに学ぶ」～心の形

皆さん、こんにちは。街は日に日に秋の気配を感じる頃となりました。今日で前期が終わります。少し振り返ってみましょう。4月：遠足がありました。6月：文化祭、8月：長雨の続いた夏休み、そして9月：幻の体育祭と雨の中の応援披露・・・今年度も早や半分が過ぎたこととなります。皆さん一人一人にとってこの6か月はどのような時間になったのでしょうか？

これから秋休みとその先の後期、前へ前へと進む皆さんを後押しするために、今回は「紙ヒコーキに学ぶ」というテーマで話をしたいと思います。キーワードは「準備」です。

早速ですが、ここに一枚の紙があります。この紙は、こうして投げても飛んでいきません。しかし一折り一折りし、紙ヒコーキにするとこのように前に飛んでいきます。同じものなのに、紙と紙ヒコーキは何が違うのでしょうか？ 考えてみてください。そうです。形が違います。先が尖り翼があり、空中を飛ぶという目的に合った形を整えています。

紙と紙ヒコーキの違いを私たちの生活に当てはめてみます。私たちが切り拓いて進むのは何でしょうか？「空間」ではなく、人生という「時間」です。時間の中を進んでいくために、何が違うと紙と紙ヒコーキの違いのようになるのでしょうか？ 私は「心の形」、つまり、目的に合った心構えのあるなしだと思います。同じ時間に同じことをやっても、その人の心構えが異なると、結果は紙と紙ヒコーキのように全く違ったものになります。

次に、では心構えがあれば願いが叶うのかというと、そうもいきません。願いを叶えるためには、心構えに加えて何が必要でしょうか？ このことを教える言葉が世界にはたくさんあります。

(パスタ登場) 私は少し硬めのアルデンテが好みですが、このままでは硬くて美味しくありません。イタリアには「パスタは茹でなければ食べられない」、という言い回しがあります。同じ意味のことをフランスでは「オムレツは卵を割らなければ作れない」、アメリカでは「車はガソリンを入れなければ走らない」(最近は電気自動車も…)となります。これらは皆、同じことを言っていますが、それは何か？ 具体的な行動をして初めて、実際に願うことが起こる、ということです。

パスタを食べるためには事前に茹でるという行動が必要ですが、皆さんにとって、進路実現のための**具体的な準備の行動は何**でしょうか？ ——日々の授業が中心です。毎時間の授業にきちんと取り組むという姿勢は、直接、受験の準備になっているだけではありません。何事においても必要な準備を怠らないという基本姿勢を身に付け行動することは、皆さんが社会人となって仕事をする上でも、自ら人生を切り拓いて進む大切な推進力となるものです。

最後に、「しなくては、とは思っているけど、中々できていない。」という人もいます。そういう人にアドバイスします。やる気に必要なものは、「**少しの心の形とちょっとした行動**」です。ちょっと頑張ればできるような小さな行動を一つ起こすことです。なぜなら、少しの心の形があれば行動するうちに自然とやる気も出てくるようになるものだからです。3点固定をしたいなら、まずは先生や先輩、友達に訊いてみて、できそうなことをやってみる、こうしたことが具体的な小さな行動を起こすということです。

人生は、「号砲の鳴らないレース」のようなものです。ならば、区切りとなる時期をうまく利用して、自分で号砲を鳴らしスタートを切り直しましょう。今回は、紙ヒコーキとパスタを例に、人生を切り拓いて進むためには心構えと行動の2つが必要だという話をしました。今日のような区切りとなる日は、自分を変える絶好のチャンスです。**試合終了の笛は、同時に次の試合に向けた新たな練習開始の合図**でもあります。今、前期終了の笛が鳴りました。後期に向け、一人一人の準備を始めてください。以上です。